



センチメント分析 × ディープラーニングが拓く 次世代のマーケティングアシストツール

読み手に刺さる文章を“先読み”する

Text_Assist

SNSが重要なマーケティングツールと化した現代では、膨大な数のユーザーに向けて、いかに“刺さるメッセージ”届けられるかが成功のカギを握っています。京都テキストラボが開発したText_Assistは、文章の読み手の反応をあらかじめ細かく予測できるため、より効果的な情報発信を可能とします。

こうした、文章に内在する感情的な効果の調査は「センチメント分析」と呼ばれます。これまでもSNS上に投稿された文章の“書き手”の感情を分析することは行われてきました。Text_Assistは、発信する文章の“読み手”の感情を分析できる点が大きな特徴です。以下に、分析の要点を紹介します。

操作は簡単、コピーもOK

まずは、発信したい文章の入力からスタート。枠内に直接記入するだけの簡単設計のため、より良い判定が得られるまで文章を何度でも直すことが可能。コピーもできるため、すでにある文章の測定も簡単です。

7つの基準で文章を判定

「喜び」「恐怖」「驚き」「信頼」「曖昧」「意図」「経済」の7つのセンチメント基準で文章を判定します。それぞれ1~5の数値で評価し、5に近いほど読者はその感情を強く感じると予測します。

文章の特徴が一目で分かる

判定結果はレーダーチャートで表示されます。「他よりも強いセンチメント基準がある」「あまり強い感情は起きない」など、文章の特徴が一目で分かるので便利です。その形状から、効果の傾向を類推することも可能です。

これまではなかった 経済基準を採用

「経済」の基準（文章を読んだ読者が経済に興味をもてる感じる）は、これまでのセンチメント分析にはない、Text_Assist オリジナルの指標です。よりマーケティングを意識した、センチメント分析の新しいカタチといえます。

Text_Assistは読者が抱く感情をAIで予測します。
分析したい文章を入力してください。(500字以内)

株式会社京都テキストラボは深層学習モデルによる新しいセンチメント分析を開発し、2023年1月、読者の反応予測サービスの提供を開始しました。将来的な展開として、その技術を活用した予測機能に基づくドラフトの半自動編集機能の開発・実用化を視野に入れています。また、インターネットを安心して利用するためのサポートツールとして、テキストの信頼性を自動で格付けするアプリケーションの開発・実用化を計画しています。

201 / 500

🔍 分析

① 「信頼できる情報だ」と感じる可能性が高い文章です。
② 「経済に期待がもてる」と感じる可能性が高い文章です。

読者がそれぞれの感情を感じるかを1~5の数値で予測しています。
—1は感じない、3は感じるかもしれない、5に近づくほど強く感じる
3.5以上の予測を青い文字で示しています。

句点「。」で区切った文ごとの分析
—文を修正して再分析できます—

	喜び	恐怖	驚き	信頼	曖昧	意図	経済
(全体の分析結果)	3.22	1.91	2.90	3.54	2.58	2.81	3.60
株式会社京都テキストラボは深層学習モデルによる新しいセンチメント分析を開発し、2023年1月、読者の反応予測サービスの提供を開始しました。	3.50	1.87	2.74	3.56	2.67	2.70	3.46
将来的な展開として、その技術を活用した予測機能に基づくドラフトの半自動編集機能の開発・実用化を視野に入れています。	3.26	1.86	2.75	3.25	2.84	2.87	3.65
また、インターネットを安心して利用するためのサポートツールとして、テキストの信頼性を自動で格付けするアプリケーションの開発・実用化を計画しています。	3.29	1.94	2.86	3.31	2.71	2.92	3.47

修正を上の文章入力欄に反映する

ディープラーニングが文脈をも判定

これまでのセンチメント分析では、主に文章中の感情に関する単語の出現頻度を分析していました。Text_Assistはディープラーニング（深層学習）を使い、文脈まで含めた感情の測定が可能です。一文単位での測定もできます。